

令和3年度

(後期) 学校評価の集計結果から

12月に実施しました後期の学校評価アンケート。学校運営協議会で意見をいただくことはまだできていませんが、集計結果から分かること等紹介いたします。

また、3学期の教育活動のできることから結果を踏まえた見直しや改善等、進めていきたいと思っております。(R4.1.11)

※ 集計結果の全容については、別紙 学校評価集計結果をご覧ください。

【学校に関わること】

- ・前期の評価より結果は向上しているが、学校が「積極性」と「表現力」を重点取組事項として取り組んでいるということほど、阿武町小中3校で共通して取り組んでいることについては、浸透していない。
- ・阿武町で共通理解すること
めざす姿…①ふるさとを愛する人②自分の言葉で伝える人③つながりを大切にすること④たくましく育つ人
育てたい心と力…①きづく②きめる③かかわる④やりぬく

- ・今年度は、地元「福賀」にスポットを当てた取組が増え、児童がたくさんの人と関わり学びを深めている。その中で児童自身の成長が感じられることに、児童・教職員・保護者・地域ともに手応えを感じている。特に地域の評価は、前期と比較しアップしている。
- ・子ども自身、そして児童の身近な存在である保護者や教職員は、前期と比較し厳しく評価している傾向にある。
- ・児童のあいさつが良くなっているという地域の方の記述が見られる。
- ・学校が楽しい・ふるさとが好きという項目については、さらにアップしている

【家庭に関わること】

- ・早寝の習慣が身につけていないことが前期よりもポイントが下がっている。
- ・ほとんどの児童が宿題を児童クラブで終わらせているため、保護者も児童の様子がかかっている場合が多いようである。
- ・読書について、家で読む習慣はあまり身につけていないようである。

- ・学校側も家庭学習の取組について家庭との連携が弱いと感じている。
- ・家での手伝いについては、児童も保護者も進んでできていないと感じている。
- ・保護者アンケートの「分からない」の選択は減ってきているが、さらに減るような努力が必要である。

【地域に関わること】

- ・前期評価後に行われた学校の取組に関わった全ての方に回答をお願いをしたことにより回答依頼の数が前期と比較し約1.5倍に増えている。
- ・児童と直接接する機会があった地域の方は、児童の「積極性」と「表現力」について、良い評価をしてくださっている。

- ・重点取組事項に対して学校が取り組んでいることを感じてもらえている。
- ・児童の姿から元気をもたらす。子ども達は地域の宝だという言葉をいただいている。
- ・コロナ禍でもあり、子どもの姿を目にする機会が少ないのは事実なので、意識して丁寧な情報発信を行う必要がある。

